

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学では、特定非営利活動法人 医療ガバナンス研究所研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の人を対象とする生命科学・医学系研究を実施します。特定非営利活動法人 医療ガバナンス研究所との共同研究です。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2024年12月 福島県立医科大学 医学部放射線健康管理学講座
教授 坪倉 正治

【研究課題名】 福島県相馬市における新型コロナウイルスワクチン接種に関する後ろ向き観察研究のフォローアップ解析

【研究期間】 研究実施許可日～2026年3月

【研究の意義・目的】

2019年11月に中国湖北省武漢市で発生した新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、瞬く間に世界中に広がり、2020年3月11日に世界保健機関（WHO）がパンデミックを宣言する事態に発展しました。2023年5月にWHOはパンデミックからの終結を宣言しましたが、依然として、新型コロナウイルス（SARS-COV-2）感染は社会的課題です。

福島県相馬市は、SARS-COV-2 ワクチン接種率が急速に高まった自治体として知られています。これは、集団接種前の意向調査や集団接種会場への交通機関の確保等の施策が役立っていると思われます。

本研究は、SARS-COV-2 ワクチン接種の有無に受診者の特徴がどのように関係するのかを明らかにすることを目的としました。本研究を行うことにより、今後、新たな感染症パンデミック時の集団接種の改善策を考察する一助になると考えています。

【研究の対象となる方】

2021年5月1日～2021年12月28日に相馬市の SARS-COV-2 ワクチン集団接種の対象となった福島県相馬市在住の方

【研究の方法】

本研究では、すでに解析が完了している結果を参照します。個々の住民の方のデータを参照することはありません。先行研究では、相馬市保健センターのデータベースの保管されている2021年5月1日から2021年12月28日の期間に相馬市のSARS-COV-2ワクチン集団接種の対象となった福島県相馬市在住の方の匿名化したデータの提供を受けました。

本研究の結果の公表については、国内外の関連学会において発表、及び国際英文雑誌等によって公表いたします。

なお、情報提供を行う際の当施設における管理責任者は、福島県立医科大学 学長 竹之下誠一です。

【研究組織】

研究代表者：

（所属 職名）医療ガバナンス研究所 研究員

（氏名）瀧田盛仁

共同研究機関における研究責任者：

（所属 職名）福島県立医科大学 医学部放射線健康管理学講座 教授

（氏名）教授 坪倉 正治

【他の機関等への試料等の提供について】 なし

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

〒960-1295 福島市光が丘一番地

福島県立医科大学 放射線健康管理学講座

担当 坪倉 正治

TEL:024-547-1891

houken@fmu.ac.jp